

△産業宣教 教会の未来と重職者産業人 (I 列 18:1-15)	△レムナント伝道学 レムナントの未来準備 (使 2:17-18)	△核心/RT-DAY 12 月学院福音化	△散らされた弟子たち 散らされた者の力 (使 1:8、使 11:19)
<p>礼拝だけささげて、みことばだけ握っていて、信仰生活が成り立つのが弟子だ。もし私に、教会に困難が来たとき、どのように解釈するのか。</p> <p>□序論_準備(器) 危機は重要な器を準備するということを悟れば、重要な答えが来る。</p> <p>1. 創 13:18 祭壇-契約成就の始まり 出 2:1-10 モーセとヨケベデの準備 I 列 18:1-15 アハブの悪行に嘆いていれば絶対に答えは来ない。 I サム 7:1-15 ペリシテでなく、イスラエルが問題だということを知って準備したオバデヤ(7 千弟子、ドタンの町運動)</p> <p>2. 光の経済-未自立教会伝道者が伝道運動することができるように</p> <p>1) 暗やみ経済-暗やみ経済に勝つ私たちの献金が光の経済だ。わかるだけで神様が答え 2) 12-サタンは目に見えないように 12 の戦略を使う。(ニューエイジ、フリーメイソン、ユダヤ人) 落とし穴、枠、わなにかかってしまう。(精神病急増、暗やみ文化掌握)</p> <p>3) 霊的問題(地球は精神病棟)</p> <p>3. 使命-神様がともにおられる産業として準備されるべき</p> <p>1) WIO - WITH だ。神様が私に与えられた産業を持って教会、人を生かすインマヌエルの祝福を味わうべき。それが基準で、光の経済だ。起こるすべてが福音化のためのこと 2) OURS -このときから、ただ、唯一性、再創造、システムが私のことになれば、光の経済が始まる 3) 三つの庭(237、いやし、サミット) -教会に 24 作らなければならない。237、いやしの庭(祈り)、子どもたちの庭(サミット)を作らなければならない。これが光の経済だ。</p> <p>□本論</p> <p>1. ネフィリム時代(当然) -文化を掌握 1) 3 団体-憑依運動 2) 瞑想、気功運動 3) サタン、悪霊文化 4) 産業化 5) 政治化-お金になって、票になると政治化</p> <p>2. オバデヤ(必然) 1) 臣下-アハブ王の臣下 2) 弟子-エリヤの弟子 3) 預言者保護-神様が最も望まれる器、未来準備</p> <p>3. 未来(絶対) 1) カルメル山運動の始まり 2) ホレブ山で、ものすごいメッセージ 3) ドタンの町-戦うこともせず勝った。 当然、必然、絶対-問題は当然来ることが来たこと。ここで神様の大きい計画を発見して契約だけ正しく握っていれば答えが来る。</p> <p>□結論_絶対計画 私に本当にできない一つの単語を探しなさい。神様の絶対計画がある。</p>	<p>□序論_器準備</p> <p>1. 理由-伝道、宣教を分らない奴隷、捕虜、属国、流浪の民になったイスラエル</p> <p>2. レムナント- 7 つを準備すべき 1) タラント発見できるくらい本を読むべき 2) 読んだ本を見て聖書で答えを得るべき 3) 三位一体の神様の奥義 4) 礼拝の祝福を味わって祈りを分かるべき 5) ただ 6) 唯一性 7) 競争者がいない再創造</p> <p>3. 実際的な力 1) 24 2) 25-神様の力 3) 00 -作品</p> <p>□本論_祈りの力を持つために</p> <p>1. 使 2:17-18 未来を見る祈りの力 1) カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間-すべての問題解決、神の国のこと、聖霊の力 2) キリスト (1) 三位一体の奥義-キリストを分かるべき (2) 御座の祝福を味わうようにするキリスト (3) 過去、今日、未来を変える時代変化 3) ただ、唯一性、再創造の答え</p> <p>2. 未来 1) 3、6、11 -神様に挑戦、ネフィリム運動、バベルの塔運動は継続 2) AD70、79、313 のことを知っていて全く揺れなかった。 3) ネフィリム時代現代化</p> <p>3. いやし準備 1) 精神病時代が来るので、237・いやし・サミットだとした。 2) 霊的戦争時代 3) 非対面メディア時代</p> <p>□結論</p> <p>1. 来ている答えを先に見なさい 2. 見えてくる答え(祈りを継続していれば) 3. 未来の答え- CVDIP があらかじめ見える。</p>	<p>□序論</p> <p>1. レムナント Remnant -<u>残りの者</u>、捨てられた者(次世代) <u>残る者、残れる者、残す者</u> 「残りの時代に福音の責任を負わなければならない人だ」覚悟すべき</p> <p>2. 準備 <u>ただ</u> 未来準備をどのように <u>1) 制限された集中-編集-学業、本、みことば</u> 「ただ」本、資料、聖書のみことばを通して編集を始めるべき。学校の勉強もそのように <u>2) 選択された集中-設計-祈り 24、25、00</u> すると神様の計画が見える。それを持って設計。神様の計画が現実ならば、祈り 24 になる。25、00 はついてくる <u>3) ワンネス集中-デザイン-現場(伝道) -分析</u> 福音はあらゆる事をみな生かすようになる。デザインは現場を見て正確に現場を分析したこと。祈る人なら、これ(2. 準備)が可能 この<u>三位一体(3)、御座(9)、時代(3)祈りなさい</u>ということ</p> <p>□本論</p> <p><u>1) 復活されたキリストの最後のメッセージ</u> マタ 28:16-20 「天と地のいっさいの権威をわたしを持って、あなたとともにいる」 マコ 16:15-20 「御座に着かれた主」 使 1:1-8 「神の国のこと」「ただ聖霊が臨めば、力を受けて地の果てまで証人になる」 地上最大の事件であるカルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上間の事件。その契約がマルコの屋上の間教会で成就し始めた。それが使徒 2 章。 <u>2) 誰も止められない福音(120) -時刻表</u> この福音を握ったが、誰も止められない。120 人によって終わらせた。時刻表が出てくる。「五旬節の日になって」これに対する時刻表「その日に」「そのときに」「この日に」「毎日」見て、私のことにすべき 使 3:1-12 証拠が出てき始める <u>3) 聖霊の満たし(他の人) -一般信徒</u> 満たしとは何か。他の人が知るようになること <u>4) 伝道者パウロの登場</u> なぜ奴隷として行ったの分かる伝道者パウロの登場。地球上、初めて自発的に宣教師として出て行く</p> <p>□結論_毎日幸せなほど力を見つけなさい。 <u>時空超越</u>という答えが出てくる。このときから学業が<u>237</u>になる。最後に来る答え、<u>空前絶後</u></p>	<p>目-散らされた者の力 悪い動機だけでなく目が開かれる。</p> <p>□本論</p> <p>1. 現場を見る目(散らされた者の現場) 1) 使 3:1-12 根本人生を変える「ナザレのイエスの名によって」これは誰もがすることはできない。 2) 使 8:4-8 歴史的にサマリヤは行ってはならないという場所、そちらに福音を伝えた 3) 使 8:26-40 このとき、ピリポがキリストを話した。この目を開かなければならない。 4) 使 10:1-45 飢え渴いたエリート 5) 使 11:19 大きな患難によって集まった者。「散った者が…」このような目を持つべき</p> <p>2. 準備する目を持っているべき。それが、すなわち散らされた者の(未来) 1) 使 13:1-4 すでに聖霊の導きで出会い、人、場所みな決定 2) 使 16:6-10 門がすべて閉ざされるとき、ターニングポイント 3) 使 19:1-7 ローマに行く前に、エペソをひっくり返す前に、ツラノ運動をする前に</p> <p>3. 実を結び目を持つべき、これが散らされた者の(使命) 1) 使 13:5-12 (シャーマン) 2) 使 16:6-10 (占い師) 3) 使 19:1-7 (病氣) 何か。福音ではなくてはならないことをいやし</p> <p>□結論 使 17:1、18:4、19:8 会堂へ正常に聖霊に導かれる人はこのようにする。</p>

△区域メッセージ 伝道者の 3 つの集中と私の 24 (使 1:14)	△聖日 1 部礼拝 世の中にだまされない真理の王 (ヨハ 18:28-40)	△聖日 2 部礼拝/一般信徒宣教献身礼拝 上から与えられたいばらの冠 (ヨハ 19:1-16)
<p>△私たちが祈るとき、礼拝しに来るとき「切実な期待感」がなければならぬ。私たちがいる人と 3 日以上一緒にいるならば、答えを与えることができない。それが伝道の始まりで、すべての始まりだ。ヨセフのように、ポティファルの家で仕えながら答えを与える可能性もある。そうしてこそ「伝道者の 3 集中と私の 24」を理解するようになる。</p> <p>△みことば (聖句) -教会に来るとき、先週にどんなみことばに恵みを受け、どんな聖句が心に触れたのか、聖日礼拝時間に確認してみる必要がある。すると、神様のみことばで、なぜこれが記録されていて、どのように理解しなければならないのか考えるようになる。</p> <p>□序論</p> <p>1. 絶対契約-思い切りすべてして、絶対契約をのがすことを指して愚かだという。私たちに向かった絶対契約がなければ、この地に生きる理由がない。絶対契約を見つけるのは、みことばと関連して、これを見つげるとき答えが与えられる。</p> <p>2. 絶対計画-すると、神様の絶対計画が見える。</p> <p>3. 絶対答え-私たちの困難は絶対答えを見なさいということだ。アブラハムが 25 年間、答えがなかったのも、絶対答えを見なさいということだ。イスラエル解放とカナンに入ったのも、これを分かったときだった。</p> <p>□本論_ただ</p> <p>1. 制限された集中は、祈りとみことば味わえば、私が必ずすべきことが見えること</p> <p>1) 創 1:27、2:7、2:18 私の中に神のかたちがあって、神様のいのちの息が入ってくるとき生きた。エデンの園の祝福は、私たちに与えると約束されたのだ。これから回復すべき</p> <p>2) 御座-御座の祝福が臨むのを見つげ出しなさい。弟子がこれを 40 日見つけて、完全に変わった。御座の祝福を分かってこそ、礼拝と祈りが分かり、このとき「時空超越」が分かる。それでこそ「237」が可能だ。</p> <p>3) 私、教会、職業 (空前絶後) に空前絶後の答え</p> <p>2. 選択された集中はすでに答えが出てくること 最も重要な答えを与えた一つの教会、産業が祝福を受けるしかない一つの地域、一つの国を神様が選別</p> <p>3. ワンネス集中</p> <p>1) ただキリスト 2) ただ神の国 3) ただ証人</p> <p>□結論</p> <p>問題 - なにか問題が一つ生じたら、それ置いてずっと集中祈りをしなさい。絶対揺れずに待ちなさい。イエス様が「待ちなさい」「あなたがたは知らなくてもよいのです」「ただ聖霊が臨めば力を受けます」と言われた。今、サタンは子どもたちの文化を悪霊文化に変えた。悪霊がとても親しくて愛らしい存在で、サタンが英雄になっている。このように、悪魔は仕事を良くしている。私たちは、他の所に関心を持つのではなく、祈って待てば良い。</p>	<p>□序論_みなさんが持って行かなければならぬ二つのこと</p> <p>1. 世の中に吹く強い風にだまされてはならない。</p> <p>1) イエス様が勝たれた。だまされずに 3 日だけ祈っても、みわざは起こる。</p> <p>2) だまされてはならない理由</p> <p>(1) ユダヤ人-福音、原罪、サタン、霊的世界も分からなくて成功者、モデルとして考え。イエス様のメッセージを聞いて憎しみ (暗やみの霊、エペ 4:27 すき)、狂気発動</p> <p>(2) ピラト-虚偽告訴、無罪であることを分かっても世論によって決定</p> <p>(3) 民-世論とうわさだけ聞いて火のように起きた。</p> <p>(4) イエス様-清楚、威厳、平然。ヨハ 12:32 「わたしが地上から上げられるなら、わたしはすべての人を自分のところに引き寄せます。」</p> <p>2. 世の中に勝つ道-キリストを通して臨む三位一体の神様と、御座の祝福と、時代を変える祝福を定刻祈りで味わいなさい。</p> <p>1) 定刻祈りで地球 1/3 を掌握したモスLEM</p> <p>2) 定刻祈りで世界を掌握したサタンに仕える 3 団体</p> <p>3) なぜ福音を受けて福音を味わえないのか。他の動機を入れずに本当に一日に 2～3 回でもこの契約を味わい始めるならば必ず変化が起こる。</p> <p>□本論_理由</p> <p>1. 福音は絶対変わらず、なくなる。</p> <p>1) 全世界教会が門を閉めることに備えるべき-キリスト中心に説教</p> <p>2) 福音をのがして 7 回のわざわいを受けたイスラエル-少数の福音を持っているレムナントを通して解放</p> <p>3) みな滅びた強大国-ここに主人、まことの王が立ったが、犯罪者が尋問</p> <p>2. キリストの力は今でも変わらない。体験しなさい。</p> <p>1) 過去問題の解決-永遠の前のキリスト</p> <p>2) 今日の問題解決-受肉されたキリスト</p> <p>3) その御名で祈れば答え-復活されたキリスト</p> <p>4) 未来の問題保証-再臨の主として立てられるキリスト</p> <p>5) 永遠のこと保証-さばき主として来られるキリスト (キリストを知っているのか、知らないのが基準)</p> <p>3. 真理は変わらない (37 節)。</p> <p>1) エペ 2:1 過去の運命を終わらせた。 △過去に引っかけた入ってくるサタンにだまされてはならない。困難は、まことのことを準備する時間</p> <p>2) エペ 2:2 今、行く所ごとに、暗やみの世界を終わらせて、みなさんを救い出された。</p> <p>3) エペ 2:6 未来問題の解決 △祈りは三位一体の神様の力、御座の力、宇宙の力が私に入ってくるのだ。これを伝達することが、とりなしの祈りだ。</p> <p>□結論_答えがないのか</p> <p>1. ハバ 2:1-2 永遠に残っているみことばを確認しなさい。苦難は少しの間だ。</p> <p>2. イザ 40:8 私たちの神のことは永遠に立つ</p> <p>3. 黙 8:1-5 みなさんの祈りが一つももれずに神様の前に、器に入れられる。</p>	<p>2000 年 わざわい、世界福音化- 2000 年の間、次世代がわざわいの中にあるか、世界福音化の中にあるかの分かれ目</p> <p>□序論_献身-どこに並んで献身するかが重要</p> <p>1. 滅亡-バリエイターは列を間違えて立って次世代が 2,000 年間殺られて死んだ。</p> <p>1) 大工がなぜキリストなのか</p> <p>2) カ-嫉妬-下手すると権力をみな奪われると考えた</p> <p>3) 安息日を守らなかったこと 4) ぶどう酒にして飲ませたこと</p> <p>5) 姦淫した女を送り返したと、取税人と食事、ツアラアト患者とともに何をやるのかと言った。</p> <p>2. 世界征服-突拍子もないように献身したが、これが世界征服した。</p> <p>1) 病んでいる者、貧しい者、不治の病の者-イエス様が来られるやいなや、彼らを訪ねて行かれ、いやされた。</p> <p>2) 十字架処刑-マタ 27:25 ユダヤ人は誤っているなら、その血の償いは、私たちや子どもたちの上にかかっても良いと言った。 ルカ 23:28 イエス様はあなたがたの子どもたちのために泣けと言われた。</p> <p>3) 復活 (ミッション) -マルコの屋上の間-復活されたキリストに会ってすべての疑いを終わらせた。オリーブ山で確実なミッションを与えられた。マルコの屋上の間に集まった。</p> <p>□本論</p> <p>1. 苦難の王冠-苦難のように見える王冠をかぶらなければならない。</p> <p>1) むち 2) いばらの冠</p> <p>3) カイザル王-カイザルが私たちの王だと言った。 苦難-福音のために受ける苦難は大きな答えで、世界福音化の道になる。</p> <p>2. 無冠の帝王-冠は必要ない。暗やみに勝つ王だ。</p> <p>1) 使 1:14-15 (法) 法で防いで法に引掛からず世界福音化した。 △家庭、家でみことば運動を行った。これが中国、モスLEMを福音化する道だ。</p> <p>2) 使 11:19 (患難) 世界福音化するアンテオケ教会を建てた。</p> <p>3) 使 13:1 初めて宣教師として派遣されたパウロ-全世界を変える始まり</p> <p>3. 三職務大使</p> <p>1) 王-イエス様に代わってサタンに勝った王</p> <p>2) 祭司-全世界のわざわいを止める祭司</p> <p>3) 預言者-全世界に道を知らせる預言者 キリスト-これを合わせた単語がキリストだ。</p> <p>□結論_本当に一度してみなさい。</p> <p>40 日、10 日-人の声を聞かないで祈るだけでも働きが起こる。 使 2:42 それでこそ、聖日礼拝が生かされる。 使 2:46-47 「毎日神殿で、家で」いやしになったのだ。 1千のやぐら-宣教中の宣教は 237、いやし、サミットが来ることができるように、教会の中にプラットフォーム、見張り台、アンテナがある 1 千やぐらを作ること</p> <p>△祈りですべてができるという結論を出さなければならない。ただキリスト、ただ三位一体の神様、ただ御座の力、祈ってみなさい。</p>